

14 「お年寄りが暮らしやすい社会にするために」

(作文 (小学生))

5 (ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、土居祥平が令和4年度福岡市人権尊重作品募集で入選した小学六年生の作文を一部省略して朗読します。題名は「お年寄りが暮らしやすい社会にするために」です。

10 それは、七月末のとても暑い日に起きたことです。その日、ぼくは友達と遊ぶ約束をしていたので、急いでお昼ご飯を食べて外に出ました。すると、向かいの駐車場で人がたおれているのを見えました。すぐに家の中にいた母と姉を呼び、三人で助けに向かいました。たおれていたのは向かいに住むおじいさんで、自転車で買い物に行つて帰つてきたところ、自転車ごとたおれてしまったようです。声をかけると返事はできなかったので少し安心しましたが、自転車のハンドルとサドルの間に はさまって、母と姉と三人で力を合わせてもなかなか自転車のとおじいさんをはなせず、電動自転車も重くておこすのが大変でした。

20 やつと自転車からぬけだして、ぼくは家から水を、姉は救急箱を取ってきました。暑い日だったので、近くを通る人もいなくて、おじいさんは一時間ぐらいその場にたおれてい

たそうです。ぼくに気づいてもらえなかったらそのまま死んでいたかもしれないと、少し笑いながら言っていました。

25 おじいさんは、少し前まで車に乗っていましたが、高齢になつたので免許証を返したそうです。だから、仕方なく、自転車で暑い中買い物に行つたんだと思います。

30 事故をおこすと大変なので、お年寄りは、免許証を返したほうが良いと言われますが、毎日の生活がとても不便になる人もいると思います。

35 ぼくにも遠くに住むおじいちゃんがありますが、車がないと買い物や病院にも行けないと言っています。でも、いつかは免許証を返さないといけない日が来ると思います。おじいちゃん、おばあちゃん的生活がどうなるかなと心配になることがあります。

40 お年寄りも安心して暮らせる社会であつてほしいと思います。今のぼくにできることを見つけて積極的に手助けしたいです。

45 (ナレーター) いかがでしたか。高齢ドライバーによる交通事故が社会問題になっていることを理解しながらも、免許証の返納で生活が不便になる祖父母を心配する作者。お年寄りが安心して暮らせる社会のために、支え合うことが大切だと気づかせてくれる作文でしたね。

(本文951字)